

## 令和5年度健康づくり推進部会〔地域・職域連携推進協議会〕報告

## 【委員構成】

- 職域保健関係機関5名(須崎労働基準監督署、全国健康保険協会高知支部、須崎地域産業保健センター、須崎商工会議所、土佐くろしお農業協同組合)
- 保健医療関係団体4名(高岡郡医師会、高知県薬剤師会高陵支部、くぼかわ病院、高知県歯科衛生士会西部支部)
- 住民代表2名(管内健康づくり婦人会連合会長、NPO 法人くぼかわスポーツクラブ会長)
- 地域保健関係機関5市町(須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町)

## 【開催状況】

- 第1回(7月27日):令和5年度の活動計画(案)について、壮年期の健康づくりへのアプローチ方法について
- 第2回(1月31日):令和5年度の活動報告について、令和6年度の取組について

## 【協議内容】

		各委員からの活動報告	成果及び課題	令和6年度の取組の方向性
健康寿命の延伸に向けた意識醸成と行動変容の促進	生活習慣病予防に向けた ポピュレーションアプローチの強化	<p><b>職域保健</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期健康診断の有所見率は、全国、高知県、須崎労働基準監督署管内いずれもR4年度と比べて増えている。有所見率の項目で見ると、血中脂質、血圧、肝機能が多い</li> <li>全国健康保険協会高知県支部として、量販店等集客力のある会場で集団健診を実施(特定健診とがん検診のセット)。高知市会場で5がん検診すべて実施できるようにしたところ、定員700人まで申し込みがあり盛況であった</li> <li>特定健診の未受診者に対しナッジを活用したはがきによる勧奨を実施</li> <li>肥満・糖尿病予防を啓発することを目的に体重測定に関するポスターを作成し、広報を実施</li> <li>職場のハラスメント防止対策についての周知啓発を実施</li> <li>会館建設に伴い、敷地内禁煙を実施したことで従業員の喫煙本数が減少</li> </ul> <p><b>保健医療</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>薬局で2ヶ月に1回栄養士による栄養指導を実施している</li> <li>事業所健診で歯科指導を実施。口への関心はまだまだ低い方が多いので、健診で歯科指導を行うことで歯科医院への定期受診につなげたい</li> </ul> <p><b>住民</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診・がん検診の受診率向上には、地域の婦人会員による声かけが効果的であり取り組んでいる</li> <li>健康づくり教室として、筋力トレーニングやヨガ、ストレッチポールを使った運動などを実施</li> </ul> <p><b>地域保健</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>がん検診について、市広報や商工会議所会報へのチラシ折り込み、量販店、電話での受診勧奨を実施</li> <li>町内のイベントで地区別の受診率や啓発ポスターを掲示し、受診勧奨を実施</li> <li>町独自で実施している健康チャンス事業(町版の健パス)の対象年齢を「20歳以上」から「小学生以上」に拡大し、若年層から健康意識を持たせる内容に変更。毎日の取組を記録することで健康づくりの意識付けになっているが、30歳未満の参加が少ない</li> <li>町事業として、活動量計を活用した健康づくり事業を実施。利用者は65歳以上の割合が6割以上で、青年期・壮年期に向けた活動が広がりにくい現状</li> <li>塩分摂取量が多い方へ減塩啓発を実施</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業所健診の場で歯科指導を実施することで、普段介入することが難しい働き盛り世代に広く歯周病予防や定期的な歯科受診の重要性について周知ができた</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>働き盛り世代は、時間的に余裕がなく健康意識が低くなりがちなため病気の早期発見・早期治療の重要性を理解してもらう必要がある</li> <li>特定健診受診者数は、コロナ禍前の水準に戻ったが、受診者の年齢層は高く、若い世代の受診者が増えていないことが課題</li> <li>健診を受けただけで安心する人もおり、その後の病院受診や具体的な生活習慣の行動変容に繋げることが必要</li> <li>健康づくりに関する講座やイベントに働き盛り世代からの申し込みが少なく、事業所を巻き込み健康づくりの取組の実践に向けた企画が必要</li> <li>健康パスポートアプリのダウンロード数は増加しているが、継続的な活用ができていないのは未把握。アプリを活用した健康行動の定着</li> <li>特定健診や企業健診での歯科相談・歯科指導の継続的な実施に向けた検討が必要</li> </ul>	<p><b>【生活習慣病予防に向けたポピュレーションアプローチの強化】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病予防の行動変容につながる取組の促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>ケーブルテレビ等を活用し、地域ごとの生活習慣の課題をデータで提示し、生活習慣改善に向けた取組を広く住民に情報発信することで行動変容を促す</li> </ul> </li> <li>地域と職域が連携した健康づくりの取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>健康イベント等で健康づくり団体や関係機関と連携し、健康課題と対策について、住民に向けて周知</li> <li>地域の健康づくり講座・イベント等を事業所に周知し参加に繋げる</li> </ul> </li> <li>事業所での主体的な健康づくり(健康経営)の取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>事業所版健康パスポートアプリを活用した従業員の健康づくりを推進</li> <li>商工会との連携により、総会などの機会を捉えて、健康経営について周知。また、会報誌等に健康経営の具体的な取組事例を提示</li> <li>事業所(企業)訪問により、事業所(企業)が主体的に健康づくりに取り組めるよう連携</li> </ul> </li> </ol> <p><b>【血管病重症化予防対策の推進】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>特定健診受診率・特定保健指導実施率の向上対策の取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>市町が実施する特定健診やがん検診の会場において、協会けんぽの加入者も受診可能な旨の案内を行うことにより、高知県全体の受診率向上を目指す</li> <li>商工会や事業所等と連携し、受診率が低い40～50歳代の受診勧奨を強化</li> </ul> </li> <li>高知県糖尿病性腎症重症化予防の取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>保険者と医療機関(主治医)との連携を強化</li> </ul> </li> <li>循環器病対策(高血圧・たばこ対策)の取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>事業所での受動喫煙防止対策を強化するため、引き続き改正健康増進法について周知</li> </ul> </li> </ol>
	血管病重症化予防対策の推進	<p><b>職域保健</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>受診勧奨から保健指導までを専門機関に委託</li> <li>事業場に対し健診後の事後措置について登録産業医と連携した助言</li> <li>健診後、「要医療」「要精密検査」該当者に医療機関受診調査を行い、受診していない場合は再度調査を実施</li> <li>登録産業医と連携した、慢性腎臓病や糖尿病性腎症の労働者に対する支援</li> </ul> <p><b>保健医療</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>通院患者の定期的な検査に特定健診を組み込んでいる</li> <li>保健指導対象者のほとんどが、中・高度の肥満者であり、減酒、減塩、カロリーバランスについて助言</li> <li>血圧管理や栄養、運動療法の必要性を理解してもらうための血圧手帳への記入への支援や栄養指導日の案内</li> <li>糖尿病重症化予防として、医療機関と町との定例連絡会の開催</li> </ul> <p><b>住民</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>啓発資材を活用した戸別訪問による受診勧奨</li> </ul> <p><b>地域保健</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特定保健指導実施率向上のための「健診会場での予約」「利用の勧奨」等の取組(業者委託)</li> <li>ヘルスメイトと連携し、特定健診会場で減塩啓発ブースを設置し、尿中ナトリウム推定塩分摂取量測定や味噌汁/吸い物の塩分測定チェックシートを配布</li> <li>糖尿病性腎症重症化予防プログラムの一部委託により継続した支援</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特定保健指導を事業委託することで年々実施率が向上</li> <li>健診時の尿中ナトリウム測定により食塩摂取量がわかり行動変容に繋げるきっかけづくりになったり、血圧手帳への記入により自身の血圧管理を行うなど、高血圧予防対策が進んできた</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>糖尿病重症化リスクの高い方は、生活基盤が脆弱な方も多いため医療機関と市町等の連携が必要</li> <li>糖尿病性腎症重症化予防プログラム活用にむけた、保険者と医療機関(主治医)との連携や、さらに必要に応じて専門医療機関へのつなぎが必要</li> <li>住民が正しい知識を持って行動変容できる支援が必要</li> </ul>	